

第2期計画の概要

①健康課題の抽出

不適切な生活習慣

食塩摂取量が多い
男性5位、女性6位

運動習慣(歩数)
が少ない
男性46位、女性25位

喫煙者の割合
が高い
男性48.6%、女性16.9%

生活習慣病予備軍

血圧・脂質・代謝リスクが高い

腹囲: 男性48.8%(全国2位) 女性14.8%(同5位)
血圧: 男性55.9%(全国1位) 女性35.2%(同2位)
脂質: 男性40.1%(全国1位) 女性18.5%(同1位)
代謝: 男性23.4%(全国1位) 女性9.1%(同3位)

業態別／運輸業が高い

腹囲: 48.9%(1位)
血圧: 62.4%(2位)
代謝: 23.7%(4位)
メタボ: 27.4%(1位)

生活習慣病

血圧・脂質・血糖の服薬が多い

血圧: 男性23.7(+4.6) 女性15.4(+2.9)
血糖: 男性6.6%(+0.5) 女性2.8%(+0.3)
脂質: 男性11.9%(+2.7) 女性13.5%(+4.3)

一人当たり医療費多い

入院:
男性1.19倍(全国6位) 女性1.14倍(同7位)
入院外:
男性1.10倍(全国1位) 女性1.10倍(同2位)

重症化・死亡

脳心血管疾患の割合が高い

脳血管: 男性1.8%(+0.2) 女性0.8%(±0)
心血管: 男性4.0%(+0.6) 女性1.9%(+0.3)
腎不全、人工透析:
男性0.4%(-0.1) 女性0.3%(-0.1)

健康寿命が短い

男性70.71歳(-0.48歳)
女性75.43歳(+1.22歳)

②上位目標の設定 (10年以上経過後の目標)

平成28年度時点で全国の1.09倍である「脳心血管疾患入院受診率(年齢調整後)」を、全国平均以下にする
(秋田:4.5件/千人 全国:4.1件/千人)

③中位目標の設定 (6年後の目標)

血圧リスク保有者の割合(年齢調整後)を、男性53.9%から全国平均46.2%以下に改善する(H27年度数値)

④下位目標の設定

特定健診受診率
の向上

特定保健指導実施率
の向上

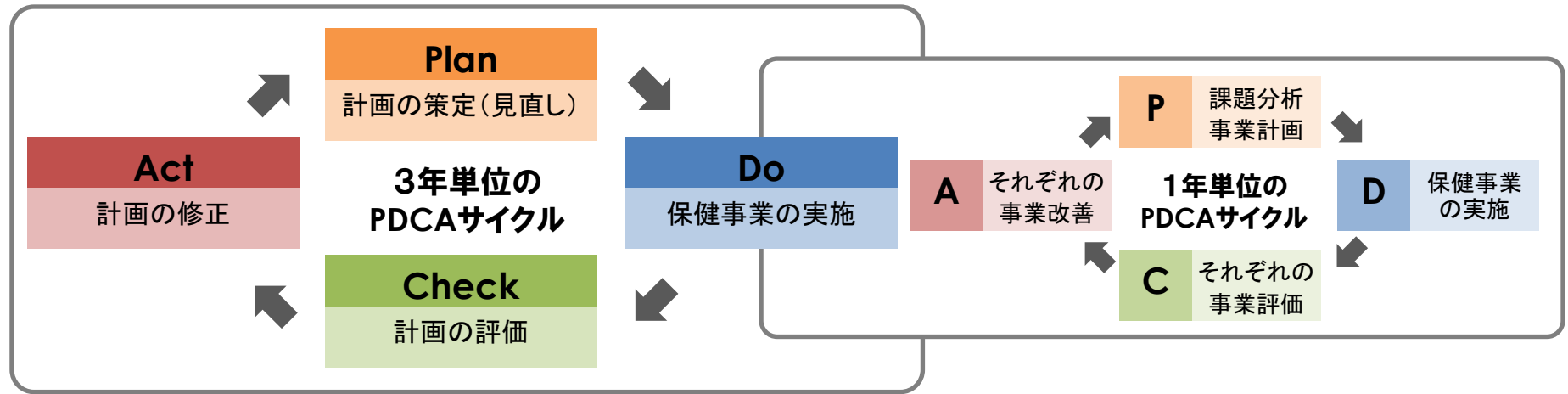
脳心血管イベント
の予防

関係団体と連携した
コラボヘルスの推進

県民ヘルスリテラシー
の向上

第2期計画策定のポイント

変更1 3ヶ年計画 ⇒ 6ヶ年計画



変更2 課題に応じた目標設定と評価結果の見える化

第1期の反省点

- 評価指標が数値で設定されていなかった
- 事業実施が目的となり、課題解決につながったかどうかわかりづらかった

第2期の改善点 (例)

健康課題: 糖尿病等の重症化に伴う医療費が高い
目標: 重症疾患の発症予防を〇%改善

New

ストラクチャー(体制)	: 主治医との連携体制の構築
プロセス(過程)	: 対象者の抽出、参加促進
アウトプット(事業実施量)	: 受診勧奨の実施率
アウトカム(成果)	: 医療機関への受診率

第2期計画1年目(30年度)の主な事業

事業1 特定健診受診率の向上

- 健診実施機関の拡大やすでに契約している健診実施機関の受診者数の増大を図る
- 社会保険労務士・商工会議所等協力先を開拓し、事業者健診データ提供の依頼を行う

事業2 特定保健指導実施率の向上

- 制度改正により「健診当日に初回面談の分割実施」が実施しやすくなるため、特定保健指導の契約をするように健診実施機関へ強力に働きかけ、保健指導終了者の増加を図る

事業3 脳心血管イベントの予防

- 二次勧奨(重症域)実施後の医療機関受診率を上げるため、広報物の見直しやより効果的な集団学習を実施する

事業4 関係団体と連携したコラボヘルスの推進

- 第1期で構築した運輸業界との連携を更に深め、運輸業の健康管理の支援活動に取り組む
- 関係団体との連携を更に深め、健康経営の推進及びフォローアップに取り組む

事業5 県民ヘルスリテラシーの向上

- 県で掲げる「健康秋田いきいきアクションプラン」に沿って、たばこ・減塩・運動の目標達成に向けた各種施策に取り組む